

「Z-GIS」活用事例を共有 圃場および生産緑地の管理に活用を

農産総合課は7月21日、県内JAのTAC・担い手担当職員を対象とした「Z-GIS研修会＝活用版（全農営農管理システム）」をJAビルかながわで開催した。

Z-GISとは圃場情報をインターネットの電子地図と関連づけることで効率的な営農管理を実現するシステム。JAを対象に令和元年から令和3年3月末までの無償期間を設けており、本県でも既に4JAが導入済みである。

研修では、システムの概要や全国の活用事例を紹介した後、実際にパソコンを使ってシステムを操作しながら多様な機能への理解を深めた。また、JA湘南からはZ-GISを活用したスクミリングガイ防除の取組

みについて情報が寄せられるなど、意見交換が行われた。参加者からは、「担当者が変わっても圃場の場所が把握しやすいのでは」「農作業受委託管理に活用したい」というコメントがあがった。

同課は、JAへの定期的な訪問や個別研修会を通じてニーズや課題に合った最適な活用方法を提案し、導入後のきめ細やかなサポートに取り組んでいく。



フォローを受けながら効率的な営農管理システムを学ぶ参加者たち

より安全な農作業の普及に向けて 農機取り扱い研修会を初開催

農機・自動車課は7月29日・30日の2日間、新任担当者を対象とした農機取り扱い研修会を平塚市内で開催した。

基礎的な農業機械の知識や操作方法に関する研修会として本会では初開催となる。県内JAの営農担当職員・農機担当職員ら19人が参加し、クボタアグリサービス(株)による講習を受けた。参加者は操作ならびに保管上の注意点や、作業安全について座学で学んだ後、実際に圃場にて機械の操作を行なった。実習ではJA職員自らが指導スタッフに質問するなど前向きな姿勢で取り組んでいた。

本研修会はJAから、農業機械の取り扱いについて正しい知識を理解していないまま後任者に引き継がれていることへの懸念や、組合員からの問い合わせに役立てたいという要望があり実現した。参加者からの感想を踏まえつつ、今後の研修頻度や講習内容を検討していく予定である。



マルチをきれいに貼るにはコツが必要！

同課は「農作業による死亡事故は全国で年間約300件発生している。こうした事故を減らし、日頃安全に作業するためにも本研修会をしっかりと役立ててほしい」と参加者に呼び掛けた。

ラジオ番組で「ぎゅっと、神奈川みかん」「湘南の輝き」紹介

7月14日・21日、TOKYO FMで放送されている6番組にて県産みかん100%ストレートジュース「ぎゅっと、神奈川みかん」が、また7月17日には本会が提供する同局の生放送ラジオ番組「JA全農COUNTDOWN JAPAN」にてJA湘南の高糖度ハウスミカン「湘南の輝き」がそれぞれ紹介された。

番組内ではパーソナリティーによる試食が行われ、思い思いに感想を話す様子が放送された。

すっぱすぎない優しい味ですね。パッケージも高級感があっておいしそう！
(中川絵美里さん)

すごくきれいなみかん色。皮をむいて絞ることで柑橘系特有のきつさがない。おいしいですよ、マジで。
(ハマ・オカモト(OKAMOTO'S)さん)



「ぎゅっと、神奈川みかん」with「THE TRAD」



「湘南の輝き」with「JA全農COUNTDOWN JAPAN」

口の中がさっぱりして、食欲の出にくい夏でもパクパク食べられます！
(安田レイさん)

みかんは冬のイメージが強いけれど、夏に食べるみかんも良いですね！
(ジョージ・ウィリアムズさん)

(JA全農 COUNTDOWN JAPAN)

放送局：エフエム東京 (TOKYO FM：JFN38局ネット) 放送日時：毎週土曜日13：00～13：55

「神奈川県産の野菜を味わうお味噌汁」を新発売 足かけ3年、新たな推進品目としての「県産加工品」

生活課は、フリーズドライ味噌汁「神奈川県産の野菜を味わうお味噌汁」シリーズを開発。9月1日より県内JAで発売する。

神奈川県では長年生活購買品の基幹品目として生味噌のケース販売に取り組んできた。しかし、近年は核家族化によりケース販売が難しくなってきたことに加え、手軽に調理できるフリーズドライ需要等の伸長が進み、消費量が落ち込んでいる。

一方で、生活課では県産農畜産物を使用した加工品の開発に力を入れてきたが、これらを「JAらしい訴求力のある商品」として評価いただく声もあった。そこで生味噌に代わる推進品目として、またJAらしいこだわりのある加工品として本商品が開発された。

発売までには3年を要した。これは原料調達・カット加工・冷凍保管・本製造と工程が多くそれぞれのコストを抑えるための検討を重ねたことや、国産米・国産大豆を使用した生味噌のコク・風味を出せるよう試

作を重ねたためである。生活課は「1杯でなるべくたくさんの野菜が取れるよう中身を設計した。化学調味料を使っておらず、産地振興と組合員の健康にも配慮した、自信をもっておすすめできる商品です」とコメントする。

小松菜・長ねぎの2種類のパッケージで販

売する。5食入り1袋で各640円(税込参考価格)。

今後も生活課では県産農畜産物を使った加工品開発ならびに生活購買事業の活性化に取り組んでいく。



野菜のシャキシャキ感・生味噌の豊かな香りを手軽に味わえます